

第1編 序論

- ◆ 第1章 後期基本計画の策定にあたって
- ◆ 第2章 町民のまちづくりに対する意識
- ◆ 第3章 後期基本計画の方向性

第1節 計画策定の趣旨

本町では、平成17年2月1日の新町制施行にあわせて、平成18年10月に「第一次越前町総合振興計画」、平成28年3月には「第二次越前町総合振興計画」を策定し、将来像である「人と技 海土里 織りなす 快適なまち ～越前 E-town brand のさらなる躍進～」の実現を目指した様々なまちづくり施策を展開してきました。

第二次越前町総合振興計画全体の計画期間は、平成28年度から令和7年度の10年間ですが、基本計画については、その実効力を高めるため、前期・後期の二期に分けて施策を位置づけています。このたび、前期の5年間が経過し、基本計画の中間見直しを行う時期を迎えたことから、「後期基本計画」を策定しました。

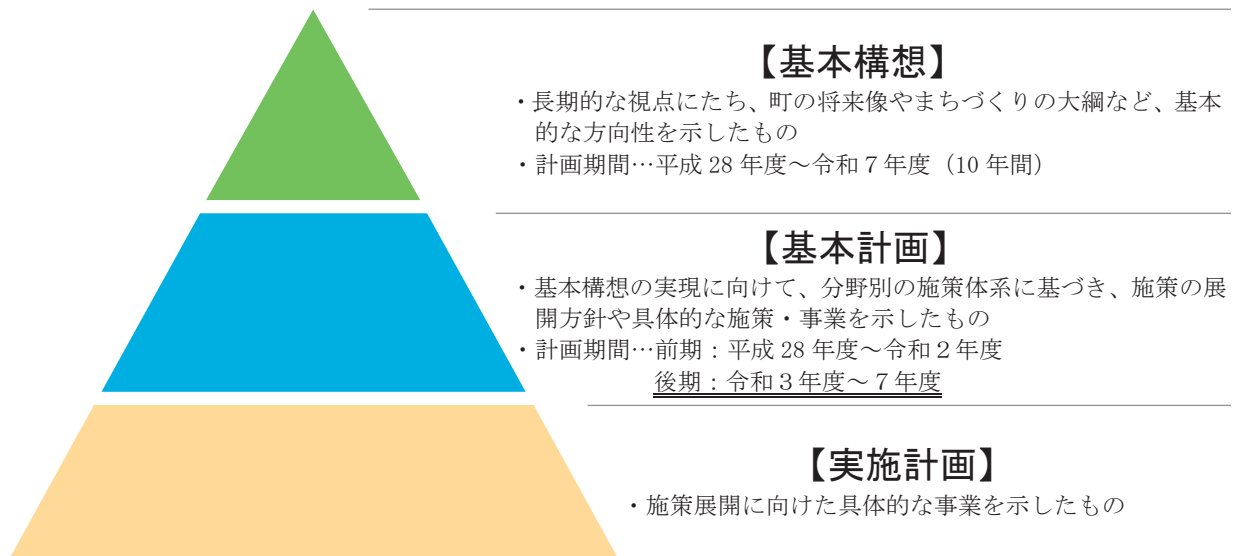
本計画では、前期5年間の成果や目標指標に対する中間評価を行うとともに、町民意識調査の結果を踏まえつつ、今後5年間を見据えた施策の見直しや、新たな事業の展開について記載しています。

多くの町民の参画と協働により、多様化する地域課題を克服し、人口減少が進行するとしても、町民が満足しながら幸せに暮らし続けられるまちづくりを目指します。

第2節 総合振興計画の構成と役割

総合振興計画は、「基本構想」と「基本計画」により構成し、後期基本計画は後期5年間の各種施策の指針となるものです。計画の具体化に向けては、別途「実施計画」を策定することで、年度ごとの予算編成に反映していくものとします。

【計画の構成と期間】



第3節 踏まえるべき計画・方針

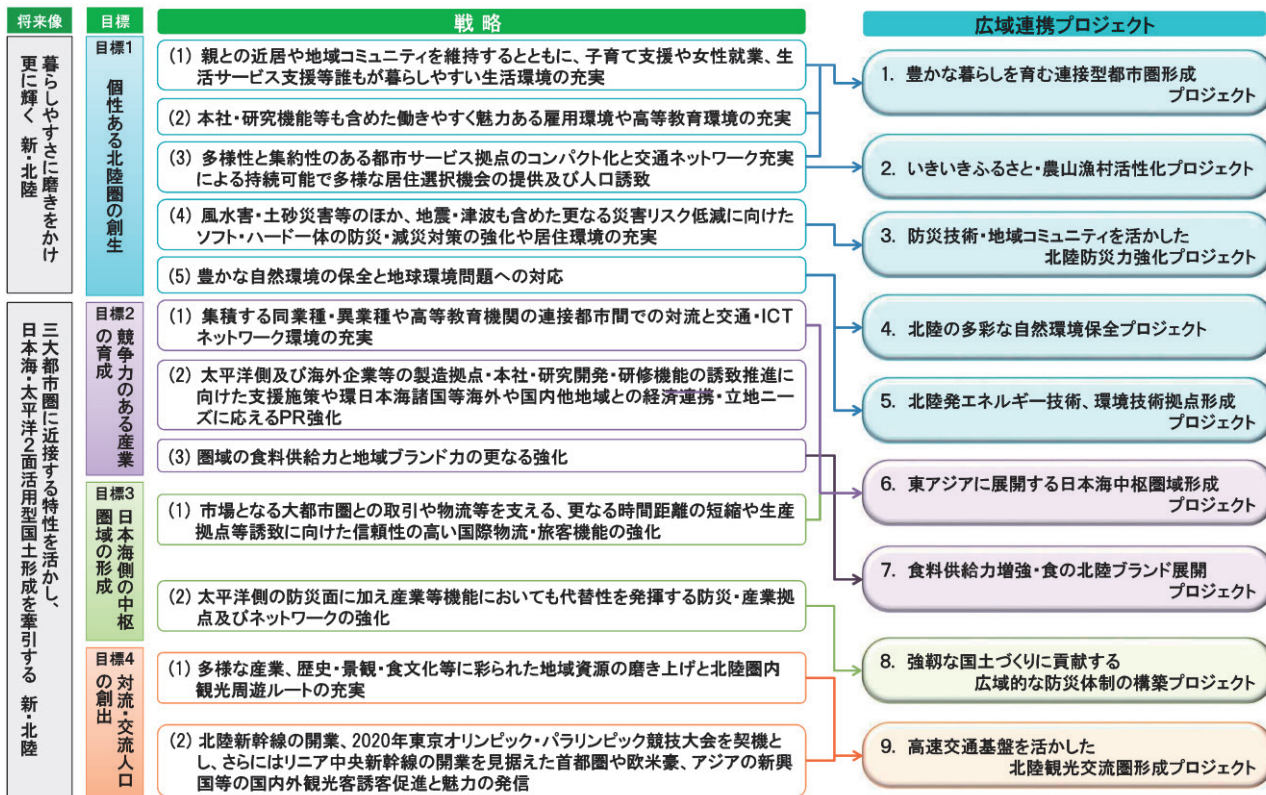
第二次越前町総合振興計画策定後の前期5年間に於いて、平成28年に「国土形成計画」及び「広域地方計画（北陸圏広域地方計画）」が策定され、国土を取り巻く厳しい状況変化に対応する多様な視点での国土づくり・地域づくりの方向性が示されました。

また、地方創生に関する方針として、国では、令和元年に第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」、福井県では、令和2年に「第2期ふくい創生・人口減少対策戦略」が打ち出され、人口減少に歯止めをかけ、活力ある社会を維持するための方針を示しています。

本町では、これらの広域的な流れを踏まえつつ、町民のニーズに沿った各種施策を実践していく必要があります。

■国土形成計画 北陸圏広域地方計画（平成28年：国）

【戦略目標と広域連携プロジェクト】



(出典：国土交通省資料)

■第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」（令和元年：国）

将来にわたって「活力ある地域社会」の実現と、「東京圏への一極集中」の是正を共に目指す。

【基本目標】

1. 稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする
2. 地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる
3. 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
4. ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

【横断的な目標】

1. 多様な人材の活躍を推進する
2. 新しい時代の流れを力にする

■第2期ふくい創生・人口減少対策戦略（令和2年：福井県）

福井県長期ビジョンの基本目標（目標年次2040年）である「しあわせ先進モデル 活力人口100万人ふくい」の実現を目指す。

【基本戦略】

1. 希望が叶う結婚・出産・子育て応援の強化
2. 県内定着・UIターンの拡大
3. 若者に魅力ある仕事の創出とまちづくり
4. 持続可能な共生社会の実現

第1節 町民意識調査

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

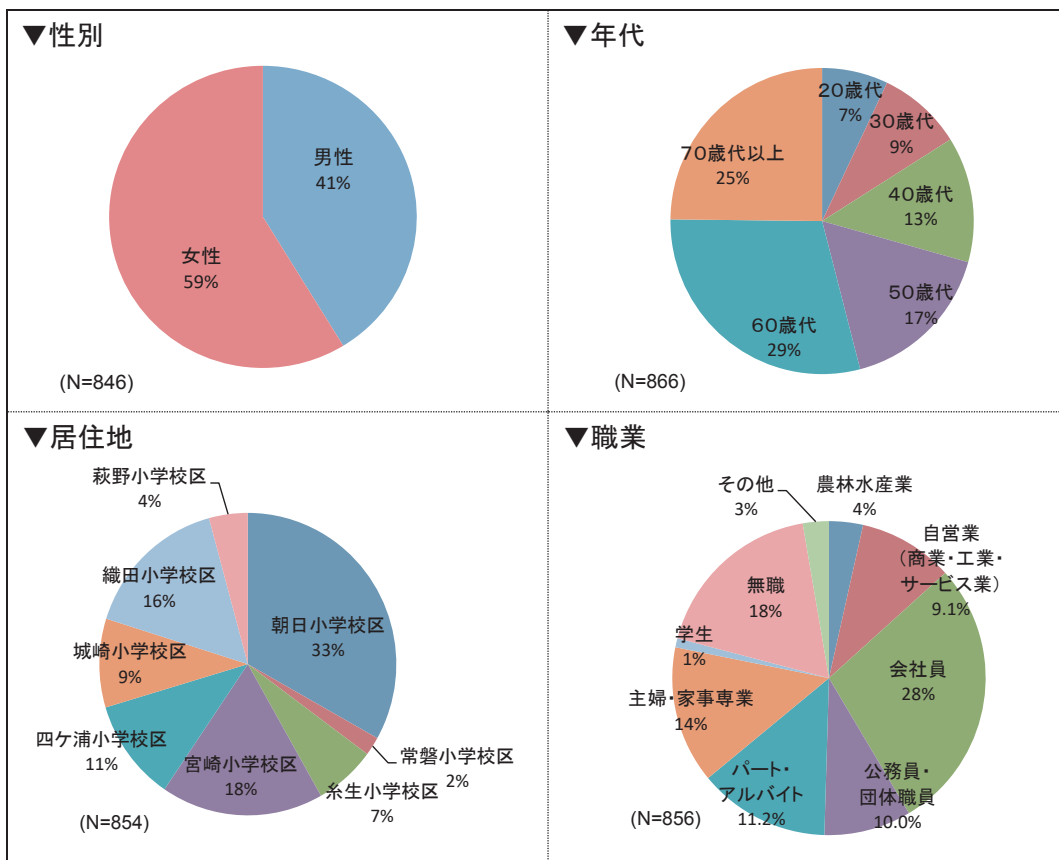
第二次越前町総合振興計画後期基本計画、越前町人口ビジョン改訂版、第2期越前町総合戦略の策定に向けて、本町での定住意向や各種施策への満足度、町民と行政の協働等に対する町民意識などを把握し、より良い町政を展開していくための基礎資料とします。

(2) 調査の概要

- ◇調査対象：満20歳以上の町民2,500名
- ◇抽出方法：住民基本台帳から無作為抽出（層化多段抽出法）
- ◇調査方法：郵送（無記名回収）方式
- ◇調査期間：令和元年8月26日（月）～9月9日（月）
- ◇回収数：872票（回収率：34.9%）

※集計結果の補足：「N」は各調査項目の有効回答数（無回答を除いた数）。
四捨五入の関係で%の合計が100%にならない場合がある。

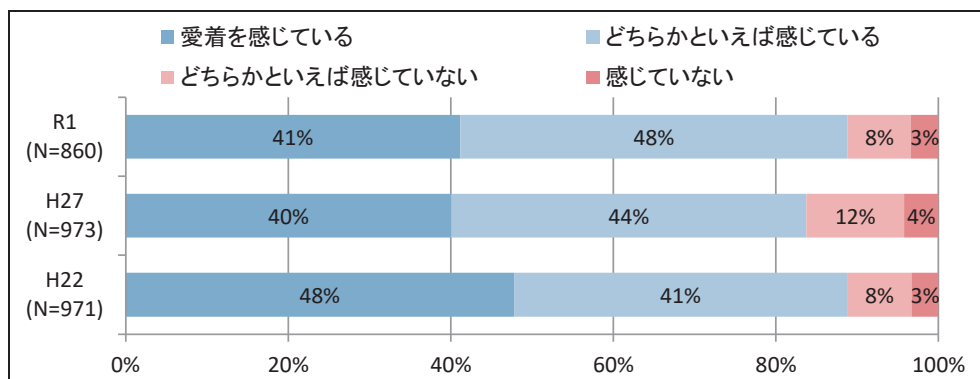
2. 回答者の属性



3. 越前町への愛着と定住意向

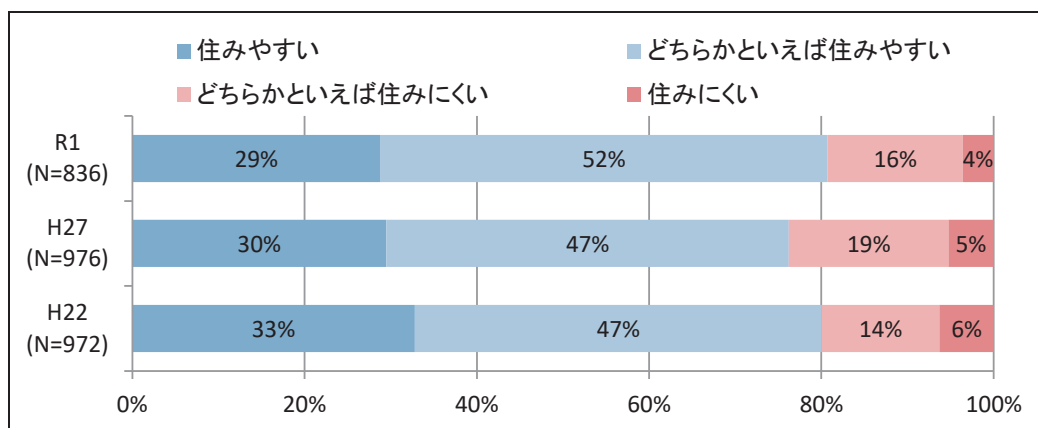
Q. あなたは、越前町に対して愛着を感じていますか？

◆越前町に対する愛着については、「愛着を感じている」「どちらかといえば感じている」の合計が9割を占めています。調査年毎の大きな変動はありません。



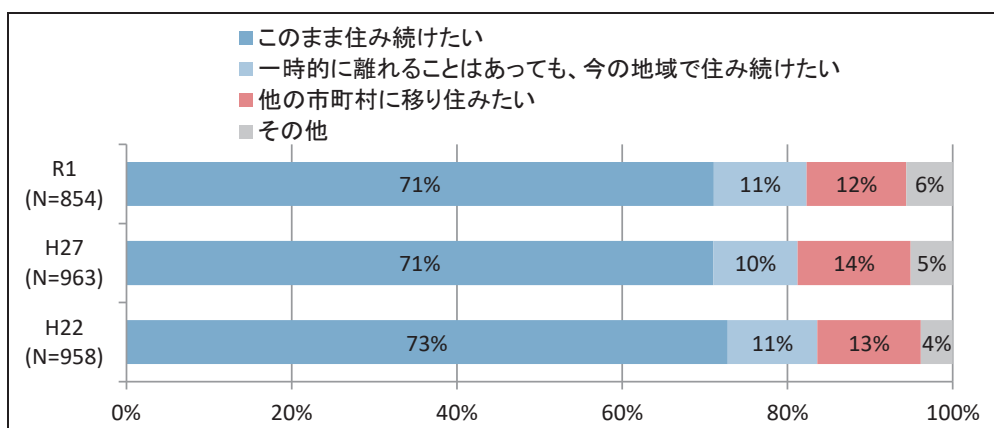
Q. あなたは、越前町を住みやすいところだと思いますか？

◆越前町の住みやすさについては、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」の合計が8割以上を占めています。調査年毎の大きな変動はありません。



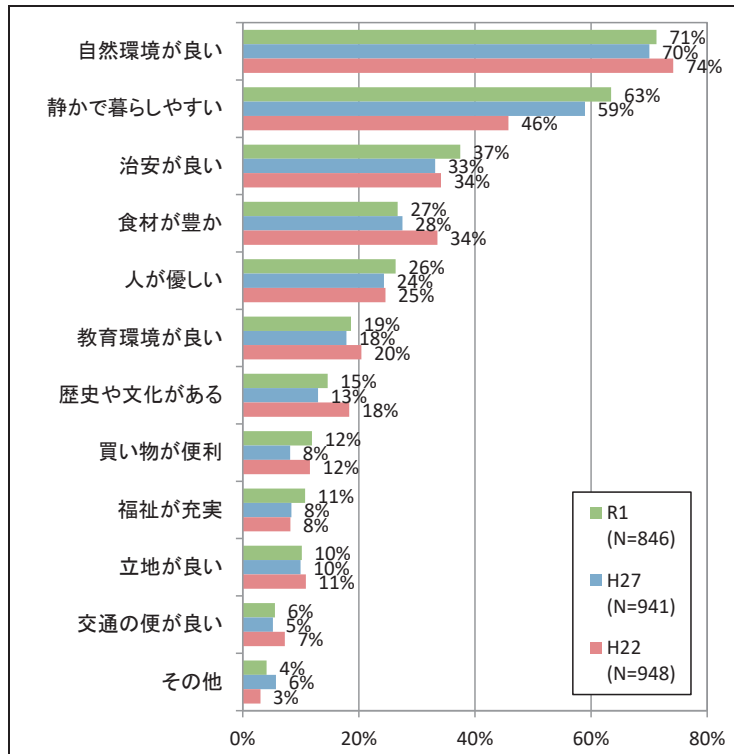
Q. あなたは、これからも越前町に住み続けたいと思いますか？

◆将来的な定住意向については、「このまま住み続けたい」「一時的に離れることはあっても、今の地域で住み続けたい」の合計が8割以上を占めています。調査年毎の大きな変動はありません。



Q. 越前町に定住することは、他の市町村に比べてどんな点に魅力を感じますか？

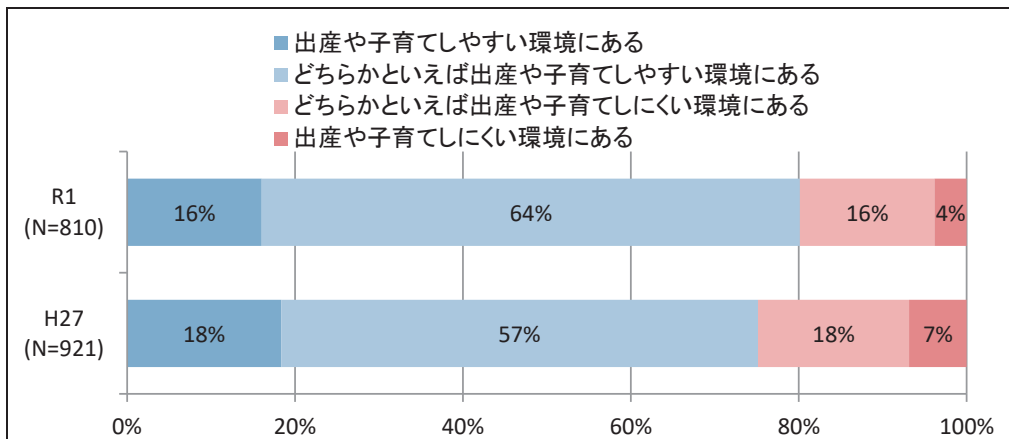
- ◆越前町の魅力については、「自然環境が良い」が7割と最も多く、次いで「静かで暮らしやすい」が5～6割と高くなっています。
- ◆「静かで暮らしやすい」は、調査年毎に増加傾向にあり、9年前と比較して17ポイント増加しています。



4. 結婚・出産・子育てに関する意識

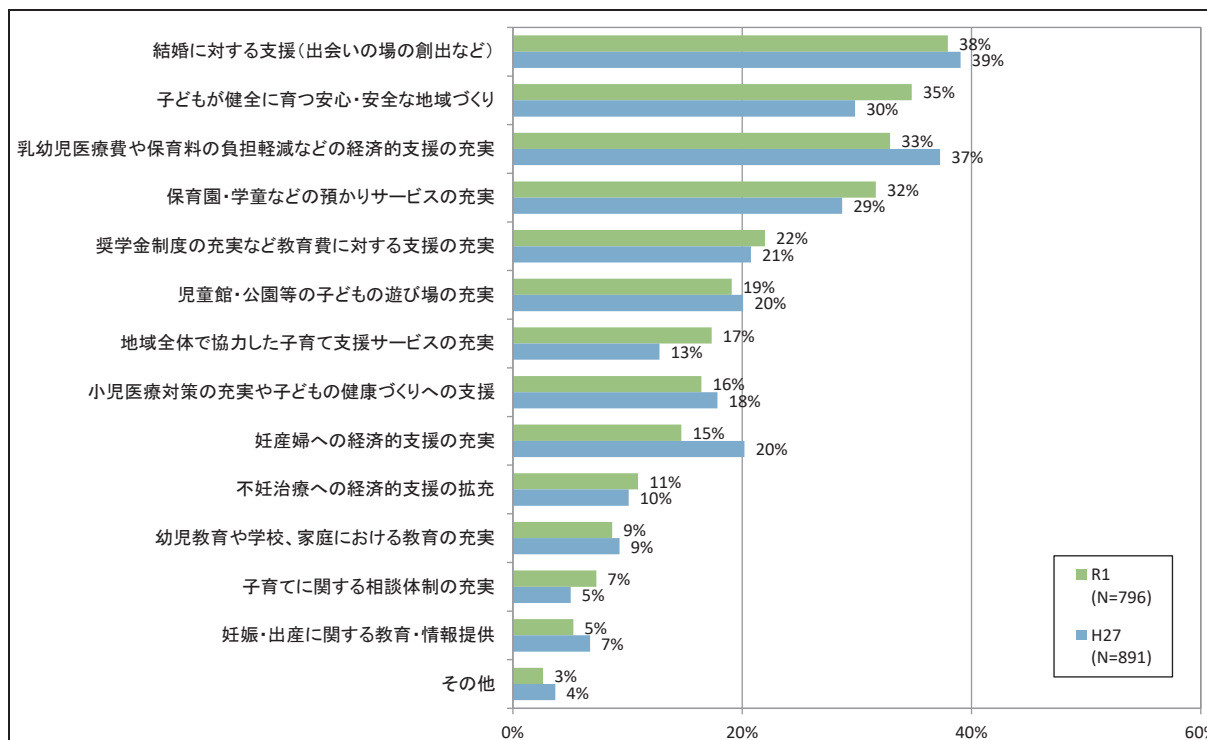
Q. 越前町は出産や子育てがしやすい環境にあると思いますか？

- ◆出産や子育てについては、「出産や子育てしやすい環境にある」「どちらかといえば出産や子育てしやすい環境にある」の合計が8割を占めています。



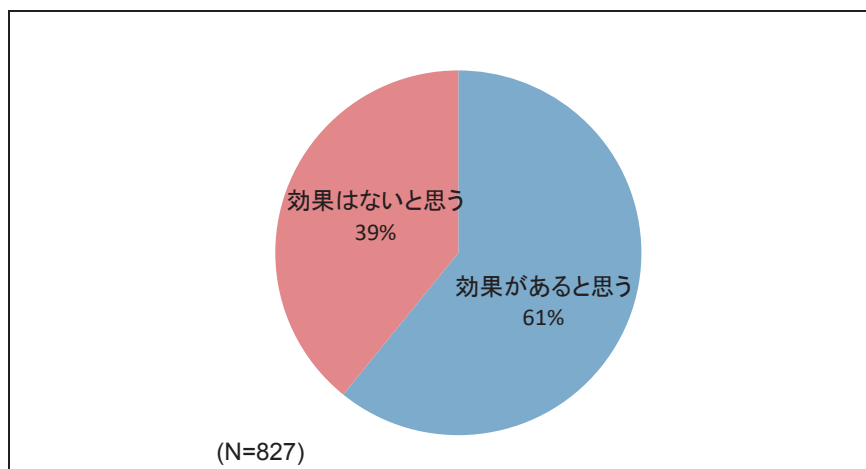
Q. 結婚・出産・子育て支援を進める上で、今後、越前町が充実すべきと思う施策は何ですか？

◆結婚・出産・子育てで充実すべき施策は、「結婚に対する支援（出会いの場の創出など）」「子どもが健全に育つ安心・安全な地域づくり」「乳幼児医療費や保育料の負担軽減などの経済的支援の充実」「保育園・学童などの預かりサービスの充実」が上位に挙げられています。



Q. 「越前町通学支援補助制度」は、越前町に在住しながら高校へ通学するために、公共交通利用料金の一部を補助する制度です（上限 5,000 円/月）。この補助制度は、越前町の人口減少対策に効果があると思いますか？

◆通学支援補助制度は人口減少対策に「効果があると思う」が6割を占めています。



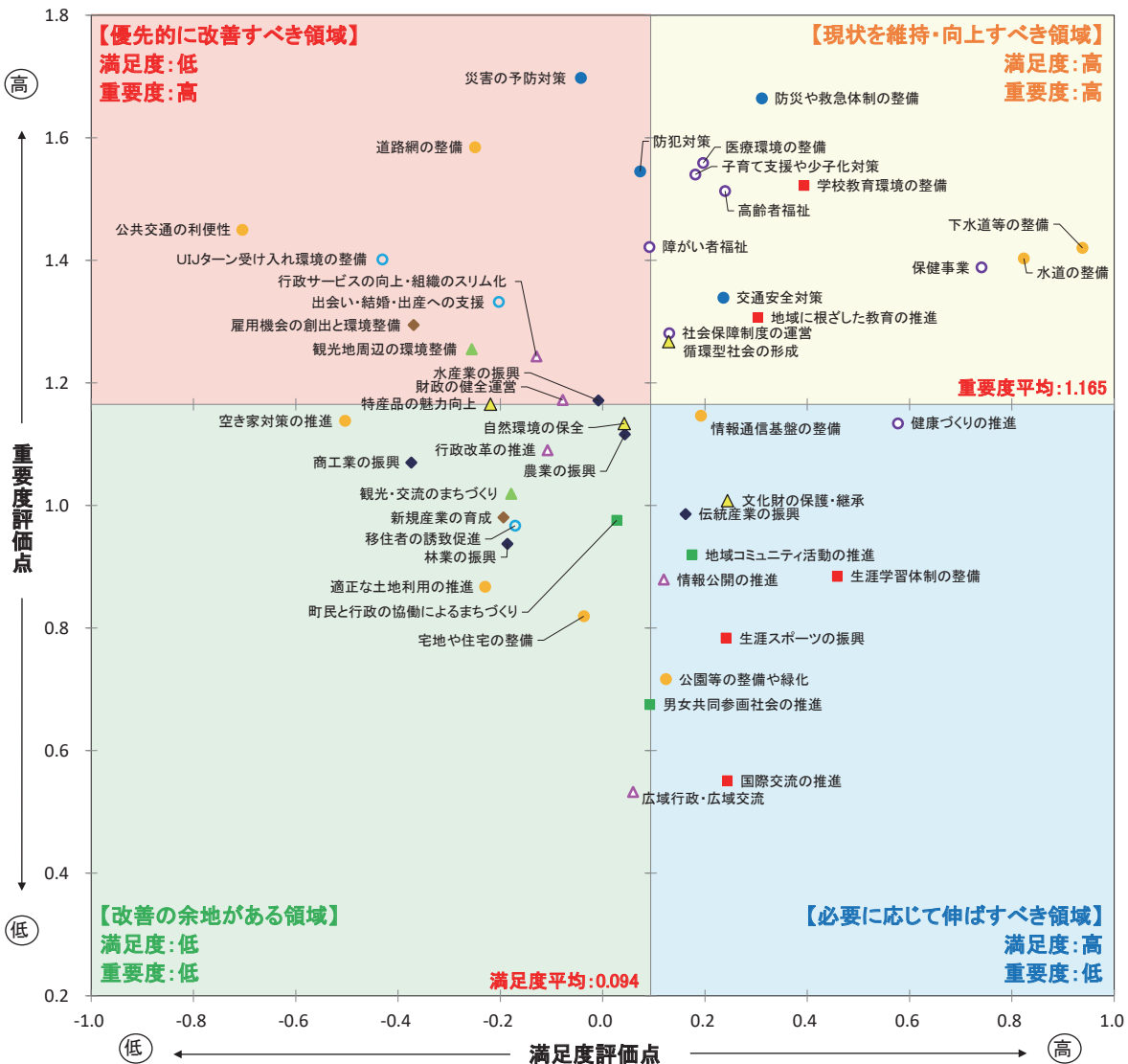
5. 各種施策の「満足度」「重要度」

第二次越前町総合振興計画で示している49の施策について、「満足度」と「重要度」の評価点を算出しました。また、越前町における施策全体の総合評価（満足度）を算出しました。

これらの町民の評価を踏まえながら、今後の本町におけるまちづくりの課題を抽出し、課題解決のための主要事業や目標指標を設定しました。

【満足度－重要度グラフ】

- 1. 快適で安全に住み続けられるまちづくり
- 2. 誰もが健康で暮らしやすさを実感できるまちづくり
- 3. 人が輝き豊かな心が満ちあふれるまちづくり
- ◆ 4. 人と仕事の活力みなぎるまちづくり
- ▲ 5. ふるさとの個性を活かし交流を育むまちづくり
- △ 6. 持続可能な健全行財政のまちづくり



【評価点の算出】

- ・満足度と重要度については、下記の計算式に基づき、数段階の評価に点数を与え、評価点を算出しました。
- ただし、無回答については除外しました。
- ・点数が高いほど満足度、重要度が高く、反対に点数が低いほど満足度、重要度は低くなります。

【評価点の算出式】

満足度評価点 = { 満足である × (2点) + やや満足である × (1点) + やや不満である × (-1点) + 不満である × (-2点) + わからない × (0点) } ÷ 回答者数

重要度評価点 = { 重要である × (2点) + やや重要である × (1点) + あまり重要でない × (-1点) + 重要でない × (-2点) } ÷ 回答者数

満足度が低く重要度が高い「優先的に改善すべき」項目は、「災害の予防対策」「道路網の整備」「防犯対策」「公共交通の利便性」「障がい者福祉」「UIJ ターン受け入れ環境の整備」「出会い・結婚・出産への支援」「雇用機会の創出と環境整備」「観光地周辺の環境整備」「行政サービスの向上・組織のスリム化」「財政の健全運営」「水産業の振興」「特産品の魅力向上」となっています。

【満足度及び重要度の評価点一覧】

				項目	満足度	重要度
1	快適で安全に住み続けられるまちづくり	1-1	住みやすいまちを演出する都市基盤・公共施設の充実	1 道路網の整備	-0.249	1.584
				2 公園等の整備や緑化	0.124	0.717
				3 水道の整備	0.823	1.403
				4 下水道等の整備	0.938	1.420
				5 情報通信基盤の整備	0.192	1.146
				6 適正な土地利用の推進	-0.230	0.867
				7 宅地や住宅の整備	-0.037	0.819
				8 空き家対策の推進	-0.504	1.138
				9 公共交通の利便性	-0.705	1.450
		1-2	くらしの安全確保	1 災害の予防対策	-0.042	1.698
				2 防災や救急体制の整備	0.311	1.664
				3 防犯対策	0.073	1.545
				4 交通安全対策	0.236	1.339
2	誰もが健康で暮らしやすさを実感できるまちづくり	2-1	安心して暮らし続けられる保健・医療と福祉の充実	1 健康づくりの推進	0.577	1.134
				2 保健事業	0.741	1.388
				3 医療環境の整備	0.196	1.559
				4 子育て支援や少子化対策	0.181	1.540
				5 高齢者福祉	0.239	1.513
				6 障がい者福祉	0.091	1.422
				7 社会保障制度の運営	0.130	1.281
		2-2	安心して結婚・移住・定住できる環境づくり	1 出会い・結婚・出産への支援	-0.203	1.332
				2 U・I・Jターン受け入れ環境の整備	-0.431	1.402
				3 移住者の誘致促進	-0.171	0.967
3	人が輝き豊かな心が満ちあふれるまちづくり	3-1	町民主体のまちづくりの推進	1 町民と行政の協働によるまちづくり	0.027	0.976
				2 地域コミュニティ活動の推進	0.175	0.920
				3 男女共同参画社会の推進	0.093	0.675
		3-2	次世代を担う人材育成	1 生涯学習体制の整備	0.459	0.884
				2 生涯スポーツの振興	0.241	0.784
4	人と仕事の活力みなぎるまちづくり	4-1	地域資源と共生する産業の振興	3 学校教育環境の整備	0.394	1.522
				4 地域に根ざした教育の推進	0.304	1.307
				5 国際交流の推進	0.244	0.551
				1 農業の振興	0.043	1.116
				2 林業の振興	-0.186	0.938
		4-2	雇用環境の充実	3 水産業の振興	-0.008	1.171
				4 商工業の振興	-0.374	1.070
				5 伝統産業の振興	0.162	0.986
				1 新規産業の育成	-0.194	0.981
				2 雇用機会の創出と環境整備	-0.370	1.294
5	ふるさとの個性を活かし交流を育むまちづくり	5-1	観光地としての新たな魅力向上	1 観光地周辺の環境整備	-0.256	1.255
				2 観光・交流のまちづくり	-0.179	1.019
				3 特産品の魅力向上	-0.219	1.165
		5-2	まちの魅力となる地域資源の保存と継承	1 自然環境の保全	0.042	1.134
				2 循環型社会の形成	0.129	1.267
				3 文化財の保護・継承	0.244	1.008
6	持続可能な健全行財政のまちづくり	6-1	自主自立型の行財政基盤の確立	1 行政サービスの向上・組織のスリム化	-0.130	1.243
				2 行政改革の推進	-0.108	1.090
				3 情報公開の推進	0.119	0.879
				4 財政の健全運営	-0.078	1.172
				5 広域行政・広域交流	0.059	0.532
平均					0.094	1.165
7	総合評価			越前町における施策全体の総合評価	-0.096	-

■優先的に改善すべき項目、■現状を維持・向上すべき項目、■必要に応じて伸ばすべき項目、■改善の余地がある項目（【満足度－重要度グラフ】の領域の色に対応）

第2章 町民のまちづくりに対する意識

前回（H27）調査の満足度、重要度の上位10項目と比較すると、満足度では「防災や救急体制の整備」が前回の32位から今回は7位に上昇しています。重要度では、「道路網の整備」「防犯対策」「公共交通の利便性」「障がい者福祉」が前回から順位が上昇しています。

【満足度の上位10項目、下位10項目】

順位	項目	満足度	H27順位
1位	下水道等の整備	0.938	1位(→)
2位	水道の整備	0.823	2位(→)
3位	保健事業	0.741	3位(→)
4位	健康づくりの推進	0.577	4位(→)
5位	生涯学習体制の整備	0.459	7位(↑)
6位	学校教育環境の整備	0.394	5位(↓)
7位	防災や救急体制の整備	0.311	32位(↑)
8位	地域に根ざした教育の推進	0.304	6位(↓)
9位	文化財の保護・継承	0.244	13位(↑)
10位	国際交流の推進	0.244	12位(↑)
40位	出会い・結婚・出産への支援	-0.203	—
41位	特産品の魅力向上	-0.219	40位(↓)
42位	適正な土地利用の推進	-0.230	34位(↓)
43位	道路網の整備	-0.249	35位(↓)
44位	観光地周辺の環境整備	-0.256	—
45位	雇用機会の創出と環境整備	-0.370	45位(→)
46位	商工業の振興	-0.374	41位(↓)
47位	UIターン受け入れ環境の整備	-0.431	—
48位	空き家対策の推進	-0.504	—
49位	公共交通の利便性	-0.705	44位(↓)

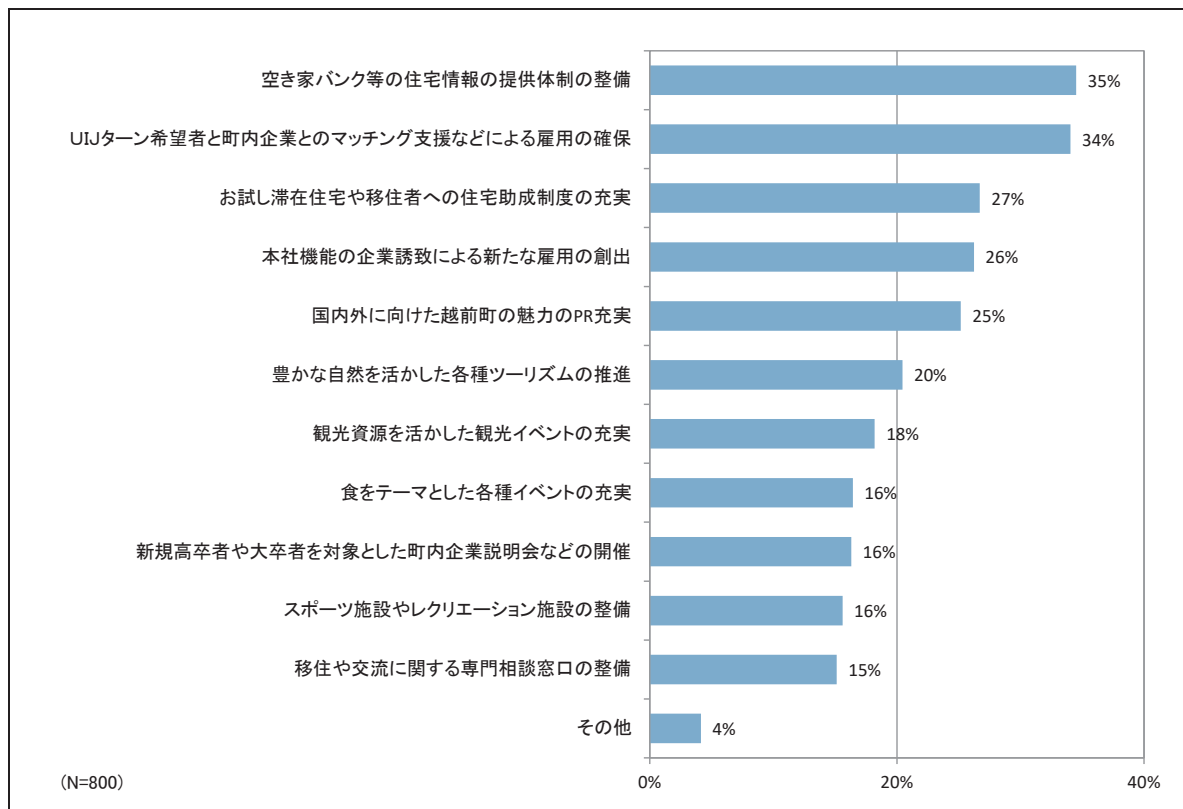
【重要度の上位10項目、下位10項目】

順位	項目	重要度	H27順位
1位	災害の予防対策	1.698	1位(→)
2位	防災や救急体制の整備	1.664	2位(→)
3位	道路網の整備	1.584	6位(↑)
4位	医療環境の整備	1.559	3位(↓)
5位	防犯対策	1.545	8位(↑)
6位	子育て支援や少子化対策	1.540	4位(↓)
7位	学校教育環境の整備	1.522	5位(↓)
8位	高齢者福祉	1.513	7位(↓)
9位	公共交通の利便性	1.450	19位(↑)
10位	障がい者福祉	1.422	11位(↑)
40位	地域コミュニティ活動の推進	0.920	42位(↑)
41位	生涯学習体制の整備	0.884	33位(↓)
42位	情報公開の推進	0.879	31位(↓)
43位	適正な土地利用の推進	0.867	40位(↓)
44位	宅地や住宅の整備	0.819	38位(↓)
45位	生涯スポーツの振興	0.784	39位(↓)
46位	公園等の整備や緑化	0.717	43位(↓)
47位	男女共同参画社会の推進	0.675	44位(↓)
48位	国際交流の推進	0.551	45位(↓)
49位	広域行政・広域交流	0.532	27位(↓)

6. 人口減少対策の取組について

Q. 今後、交流の促進による人口の維持・増加に向け、越前町が充実すべきと思う施策は何ですか？

◆「空き家バンク等の住宅情報の提供体制の整備」「UIJ ターン希望者と町内企業とのマッチング支援などによる雇用の確保」が必要との意見が多くありました。



第2節 中高生意識調査

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

将来の越前町を担う中高生が感じている「まちに対する思い」や「まちの課題」を総合戦略の策定や今後のまちづくりに反映させるための資料とします。

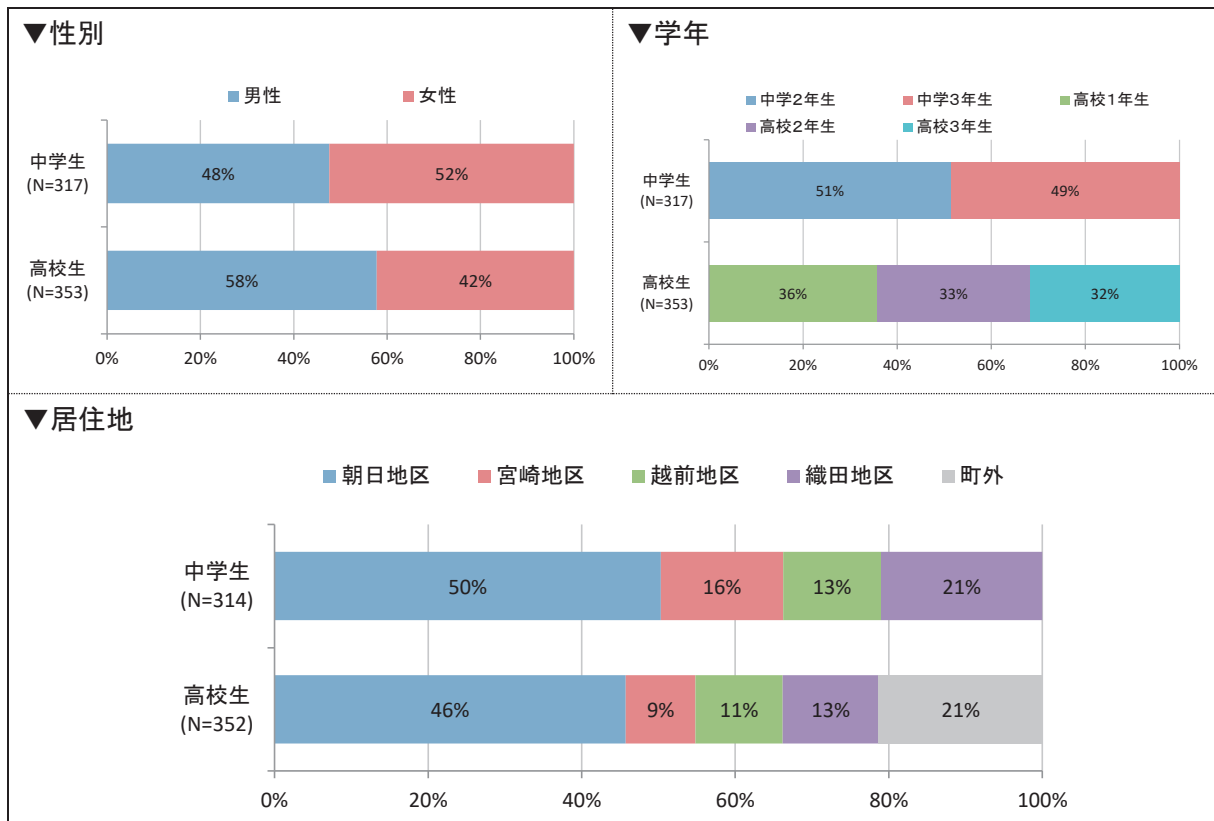
(2) 調査の概要

- ◇調査対象：町内の中学生（2年生・3年生）、丹生高校の1～3年生
- ◇調査方法：学校における直接配布回収方式
- ◇調査期間：令和元年9月
- ◇回収数：680票

	配布先	合計回収数
中学生	朝日中、宮崎中、越前中、織田中の2～3年生	317名
高校生	丹生高校の1～3年生	363名

※集計結果の補足：「N」は各調査項目の有効回答数（無回答を除いた数）。
四捨五入の関係で%の合計が100%にならない場合がある。

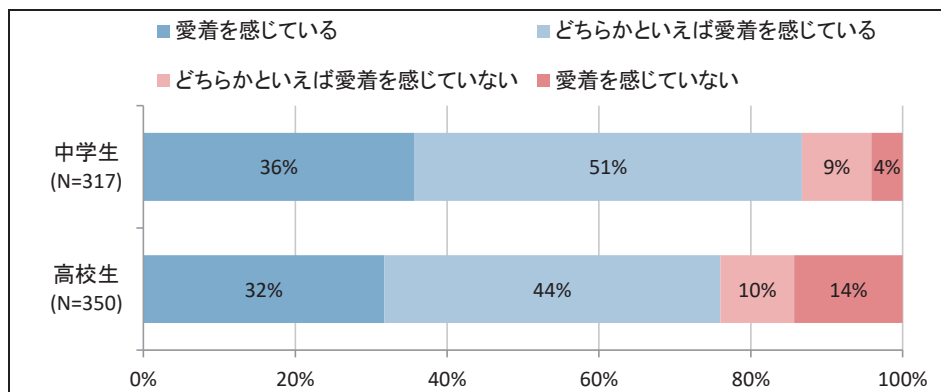
2. 回答者の属性



3. 越前町への愛着と定住意向

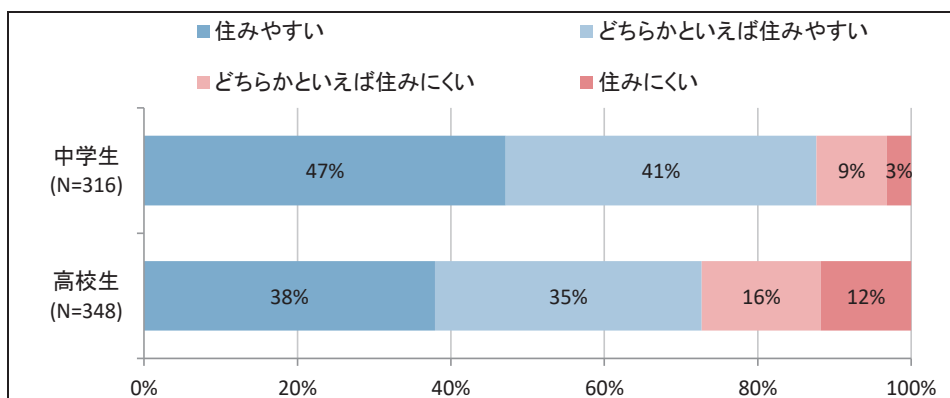
Q. あなたは、越前町に対して愛着を感じていますか？

◆越前町に対する愛着については、「愛着を感じている」「どちらかといえば愛着を感じている」の合計が、中学生では約9割、高校生では約8割を占めています。



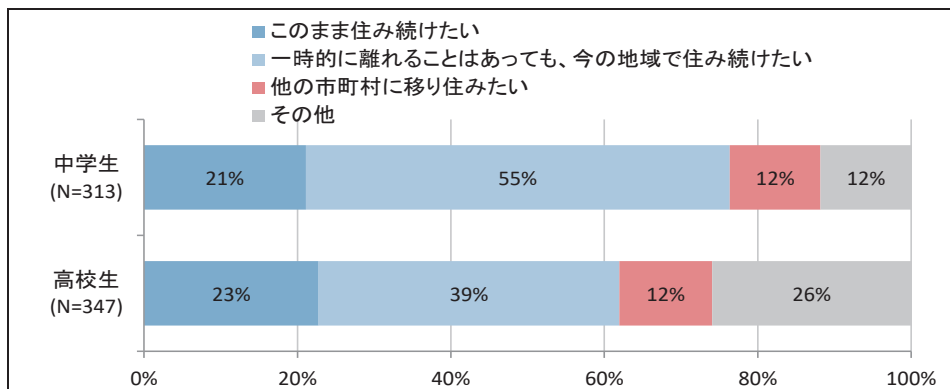
Q. あなたは、越前町を住みやすいところだと思いますか？

◆越前町の住みやすさについては、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」の合計が、中学生では約9割、高校生では約7割を占めています。



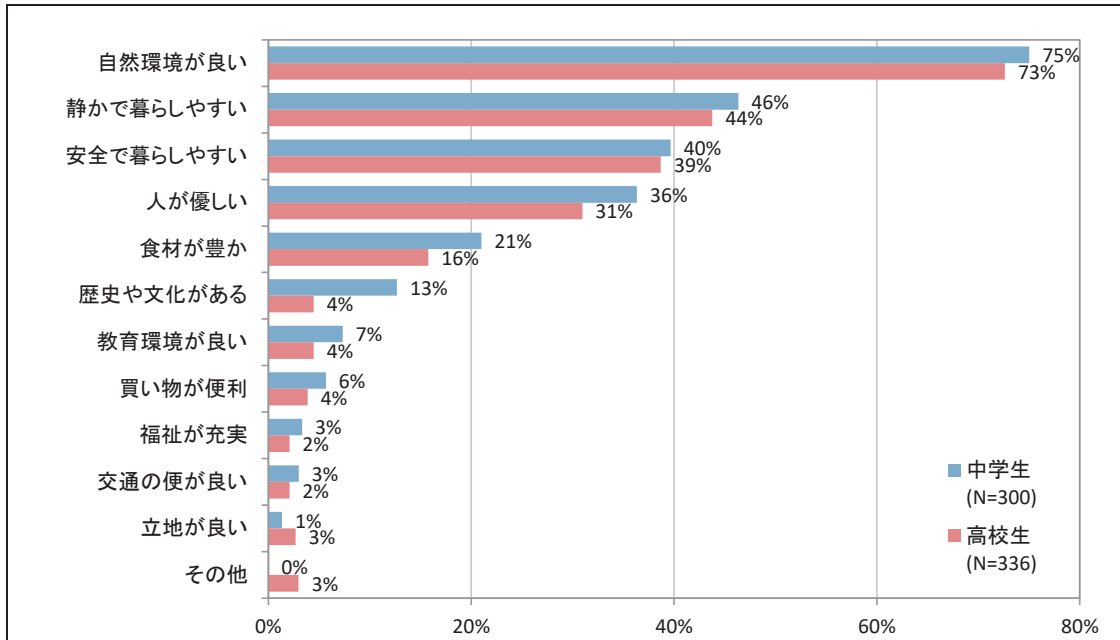
Q. あなたは、これからも越前町に住み続けたいと思いますか？

◆将来的な定住意向については、「このまま住み続けたい」「一時的に離れることはあっても、今の地域で住み続けたい」の合計が、中学生では約8割、高校生では約6割を占めています。



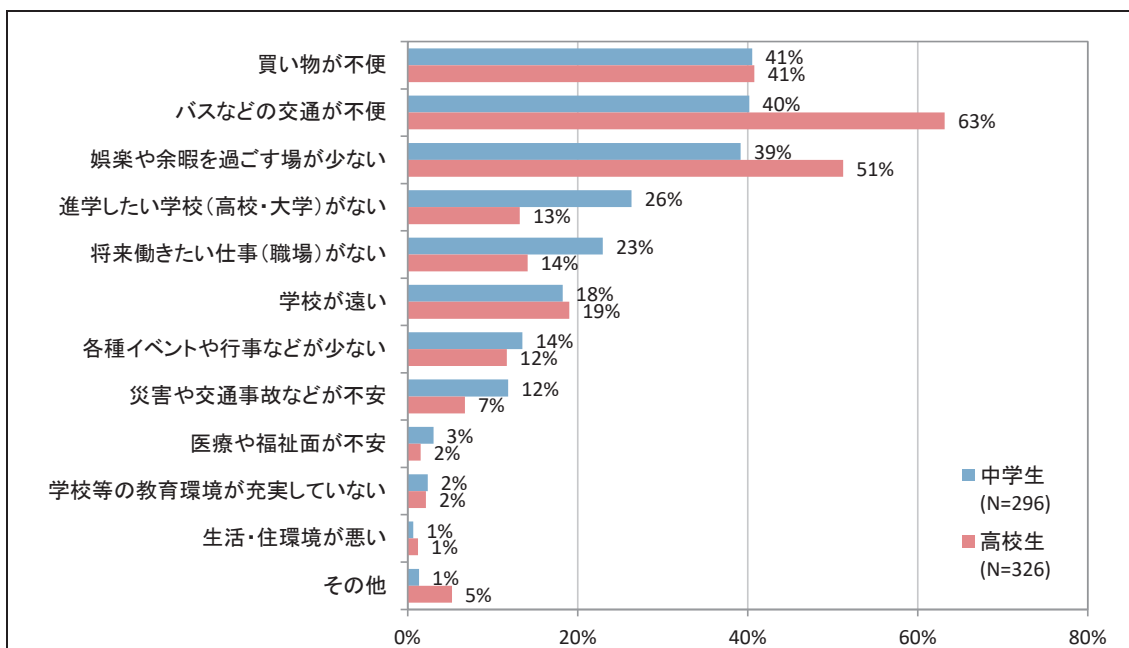
Q. 越前町に住んでいて、どんな点に魅力を感じますか？

◆越前町の魅力については、中学生、高校生ともに「自然環境が良い」が7割以上と最も高く、次いで、「静かで暮らしやすい」が4～5割と高くなっています。



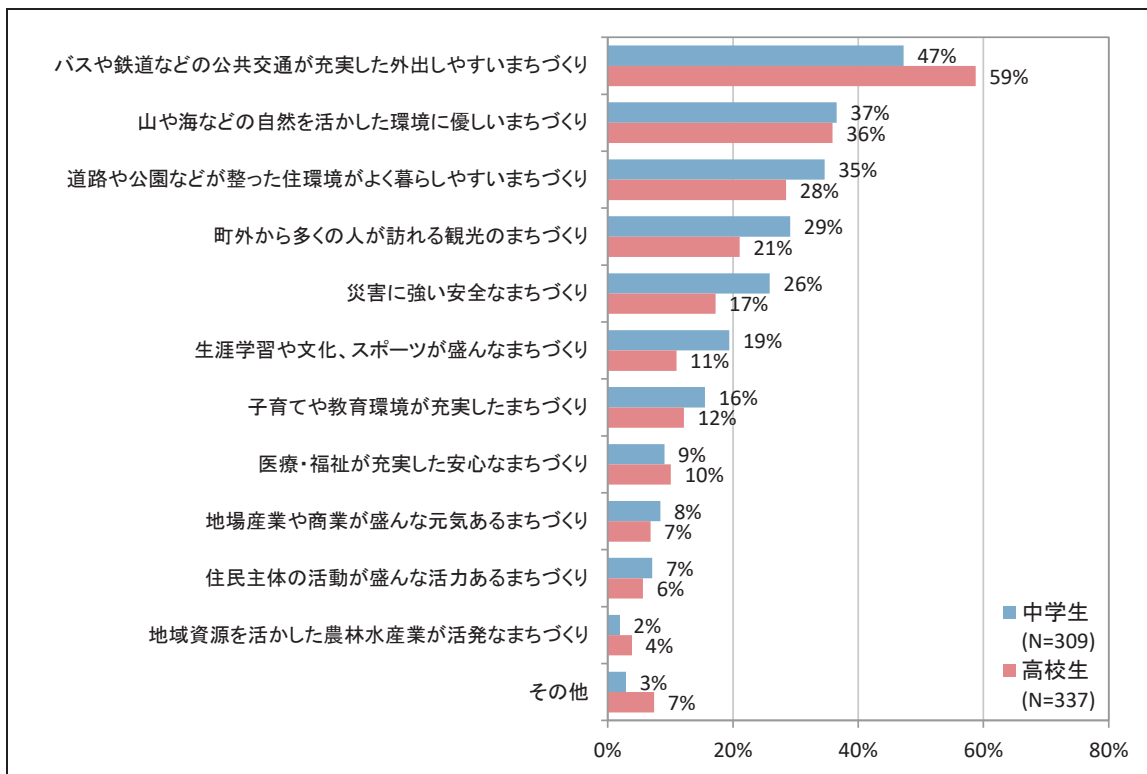
Q. 越前町の不便なところや不安に感じることは何ですか？

◆越前町の不便なところ、不安なところについては、中学生では「買い物が不便」「バスなどの交通が不便」「娯楽や余暇を過ごす場が少ない」を約4割が感じており、高校生では「バスなどの交通が不便」が約6割、「娯楽や余暇を過ごす場が少ない」が約5割と特に高くなっています。



Q. 越前町が今後のまちづくりに重点を置くべき施策は？

◆重点を置くべきまちづくり施策は、「バスや鉄道などの公共交通が充実した外出しやすいまちづくり」が、中学生では約5割、高校生では約6割と最も高くなっています。



第3節 今後のまちづくりの課題

町民意識調査結果を踏まえ、本町における今後のまちづくりの課題を以下に整理します。

1) 快適で安全に住み続けられるまちづくりに向けて

- 優先的に改善すべき（満足度が低く重要度が高い）施策として、「道路網の整備」「公共交通の利便性」「災害の予防対策」が挙げられています。中高生においても、「バスや鉄道などの公共交通が充実した外出しやすいまちづくり」が重点を置くべき施策として感じており、これらに関連する施策や事業を積極的に展開することにより、住み続けたいまちづくりが必要です。

2) 誰もが健康で暮らしやすさを実感できるまちづくりに向けて

- 保健・医療・福祉に関連する施策については、全体的に満足度や重要度が高く、出産や子育てしやすい環境にあると感じている人も多いことから、本町の「強み」となっています。一方で、第二次越前町総合振興計画で新たに追加された「出会い・結婚・出産への支援」や「UIJ ターン受け入れ環境の整備」といった安心して結婚・移住・定住できる環境づくりに関する施策は、総じて満足度が低くなっており、改善が求められています。

3) 人が輝き豊かな心が満ちあふれるまちづくりに向けて

- 「学校教育環境の整備」や「地域に根ざした教育の推進」については、満足度・重要度ともに高く、一定の評価を得ています。他方、第二次越前町総合振興計画の基本構想では、施策推進の基本姿勢として、「ネットワークの構築による協働・連携」を掲げ、前期基本計画の各種施策を展開してきました。しかし、協働に対する意識や満足度は相対的に低くなっています。このような実情を踏まえつつ、町民だけでなく、行政や多様な主体がコミュニケーションをとり、連携できる仕組みづくりが必要です。

4) 人と仕事の活力みなぎるまちづくりに向けて

- 優先的に改善すべき施策として、「雇用機会の創出と環境整備」が挙げられているほか、交流の促進により取り組むべき人口減少対策として、「UIJ ターン希望者と町内企業とのマッチング支援などによる雇用の確保」が多くなっており、町内における働く場の確保が求められています。また、農林水産業や商工業などの産業全般に対する満足度が相対的に低く、第一次産業をはじめとする町内産業の活性化が課題となっています。

5) ふるさとの個性を活かし交流を育むまちづくりに向けて

- 優先的に改善すべき施策として、「観光地周辺の環境整備」や「特産品の魅力向上」が挙げられています。また、関連施策では「観光・交流のまちづくり」の満足度も低くなっており、観光客の受け入れ体制の強化、越前がにをはじめとする「越前ブランド」の展開により、本町の魅力を多方面に発信していく必要があります。また、自然環境が良いことが本町に定住する上で大きな魅力となっています。今後も豊かな自然を守り育て、地域資源としてさらに磨き上げていくことが望まれます。

6) 持続可能な健全行財政のまちづくりに向けて

- 優先的に改善すべき施策として、「行政サービスの向上・組織のスリム化」「財政の健全運営」が挙げられています。人口減少や少子・高齢化、社会経済情勢の悪化など、本町を取り巻く環境が厳しさを増す中、自主財源の確保と財政運営の効率化による財政の健全運営を図り、スマートで持続可能な組織体制づくりを進めていく必要があります。

第1節 施策の体系

前期基本計画では、施策の大綱に基づき施策を展開してきましたが、後期基本計画では、前期基本計画の施策体系をベースに、「第2期越前町総合戦略」での施策を踏まえ、以下に示す48の施策区分について、各種施策や事業を展開します。

1. 快適で安全に住み続けられるまちづくり

1-1. 住みやすいまちを演出する都市基盤・公共施設の充実

● 便利で快適な町の形成を目指し、町全体の土地利用方針を踏まえながら、道路・公園・宅地・上下水道・情報通信といった生活基盤の充実を図ります。また、今後の人口減少に伴ってさらに進行するであろう空き家問題に対し、総合的な対策を推進します。

【施策区分：9施策】

- | | |
|------------|---------------|
| ①道路網の整備 | ②憩いの場の整備 |
| ③水道の整備 | ④下水道等の整備 |
| ⑤情報通信基盤の整備 | ⑥適正な土地利用の推進 |
| ⑦宅地・住宅の整備 | ⑧総合的な空き家対策の推進 |
| ⑨公共交通の充実 | |

1-2. 暮らしの安全確保

● 安全に安心して住み続けられる環境づくりを目指し、近年増加傾向にある自然災害への対応や大規模災害への備え、犯罪の未然防止、交通安全の確保に向けた対策を推進し、地域住民と行政の協働による地域力の強化を図ります。

【施策区分：4施策】

- | | |
|----------|-------------|
| ①災害の予防 | ②防災・救急体制の充実 |
| ③防犯対策の強化 | ④交通安全対策の充実 |

2. 誰もが健康で暮らしやすさを実感できるまちづくり

2-1. 安心して住み続けられる保健・医療と福祉の充実

- 誰もが生涯にわたって健康に暮らし続けられる町を目指し、町民の健康づくりや保健・医療環境の向上、超高齢社会を見据えた高齢者福祉の充実、人口減少対策の要となる子育て支援の強化、障がい者福祉の充実、社会保障制度の健全運営と周知・啓発を図ります。

【施策区分：7施策】

- | | |
|----------------|------------|
| ①健康づくりの推進 | ②保健事業の推進 |
| ③医療環境の充実 | ④子育て支援の充実 |
| ⑤高齢者福祉の充実 | ⑥障がい者福祉の充実 |
| ⑦安定した社会保障制度の確立 | |

2-2. 安心して結婚・移住・定住できる環境づくり

- 若い世代が安心して結婚・移住・定住できる町を目指し、出会い・結婚・出産に対する切れ目のない支援を図るとともに、UIJ ターン者の受け入れ体制の強化や積極的な誘致活動の展開による移住・定住を促進し、将来的な人口の確保と地域活力の維持・向上に努めます。

【施策区分：3施策】

- ①結婚・出産しやすい環境と交流機会の創出
- ②移住者・子育て世帯受け入れ環境の整備
- ③移住者の誘致促進

3. 人が輝き豊かな心が満ちあふれるまちづくり

3-1. 町民主体のまちづくりの推進

- 町民がイキイキと活躍できる町を目指し、町民・行政・多様な主体のネットワークの構築を図りながら、協働によるまちづくり活動の推進や地域コミュニティ活動の活性化を支援するなど、町民主体のまちづくりを推進します。また、男女共同参画の取組を展開し、男女ともに活躍できる地域社会の実現を図ります。

【施策区分：3施策】

- ①町民と協働できるまちづくりの推進
- ②地域コミュニティの育成
- ③男女共同参画社会の推進

3-2. 次世代を担う人材育成

●町の発展を支える心豊かな人材の輩出を目指し、家庭・地域・学校・行政が一丸となって、教育環境の充実や生涯スポーツ・競技スポーツの振興を図ります。また、国際交流活動を推進し、グローバルに活躍できる人材の育成を図ります。

【施策区分：6施策】

- | | |
|------------|---------------|
| ①生涯学習体制の充実 | ②生涯スポーツの振興 |
| ③学校教育環境の充実 | ④地域に根ざした教育の推進 |
| ⑤国際交流の推進 | ⑥丹生高校の育成・支援 |

4. 人と仕事の活力みなぎるまちづくり

4-1. 地域資源と共生する産業の振興

●豊かな自然などの地域資源を活かした産業活力のある町を目指し、農林水産業の担い手の育成や農業生産基盤の整備、森林資源や水産資源の確保、6次産業化やブランド化の支援、商店街の振興や異業種間交流の推進、越前焼を活かした伝統産業の振興などを図ります。

【施策区分：5施策】

- | | |
|----------|---------|
| ①農業の振興 | ②林業の振興 |
| ③水産業の振興 | ④商工業の振興 |
| ⑤伝統産業の振興 | |

4-2. 雇用環境の充実

●安定した仕事を持ち豊かな生活を送ることができる町を目指し、創業支援や産学官連携の推進による新規産業の育成、地域産業の活性化や企業誘致などによる雇用の創出、老若男女が安心して働ける就労環境の向上を図ります。

【施策区分：2施策】

- | | |
|----------|----------------|
| ①新規産業の育成 | ②雇用機会創出と就労環境整備 |
|----------|----------------|

5. ふるさとの個性を活かし交流を育むまちづくり

5-1. 観光地としての新たな魅力向上

- 海・山・里の観光資源を活かした交流が盛んな町を目指し、福井総合植物園プラントピア、越前陶芸村、道の駅「越前」、織田劔神社周辺などの交流拠点施設の再整備をはじめとする観光資源の魅力向上や、観光客・団体客の受け入れ体制の強化、「越前ブランド」のさらなる展開と多方面へのPRを図ります。

【施策区分：2 施策】

- ①観光産業の活性化
- ②特産品・越前ブランドの魅力向上

5-2. まちの魅力となる地域資源の保存と継承

- 連綿と受け継がれてきた自然・歴史・文化が息づく町を目指し、環境基本計画などに基づく自然環境の保全や5R運動の推進などによる循環型社会の形成、織田文化歴史館を核とした文化財の保護・継承を図ります。

【施策区分：3 施策】

- ①自然環境の保全
- ②循環型社会の形成
- ③文化財の保護・継承

6. 持続可能な健全行財政のまちづくり

6-1. 自主自立型の行財政基盤の確立

- 町民の信頼に応える健全行財政の町を目指し、多様化する町民ニーズに応じた行政サービスの向上や組織のスリム化及び総合力の強化、町政情報のオープンデータ化などによる情報公開の推進、自主財源の確保と財政運営の効率化による財政の健全運営、近隣市町との連携による広域行政・広域交流の推進を図ります。

【施策区分：4 施策】

- ①行政サービスの向上・組織のスリム化
- ②情報公開の推進
- ③財政の健全運営
- ④広域行政・広域交流の推進

第2節 後期基本計画の主な視点

第二次越前町総合振興計画に基づく前期5年間の町政運営にあたっては、将来像である「人と技 海土里 織りなす 快適なまち ～越前 E-town brand のさらなる躍進～」の実現を目指し、多岐にわたる施策を展開してきました。

後期基本計画の策定にあたっては、これまでの施策展開における課題や、町民意識調査結果から得られた知見を踏まえるほか、新たに以下の3つの視点を加え、将来像の実現に向けた各種施策、事業を積極的に展開します。

【視点1】「第2期越前町総合戦略」との連携

● 令和2年3月に策定した「第2期越前町総合戦略」を踏まえ、前期基本計画で位置づけたリーディングプロジェクトに基づき、各種施策・事業を推進します

Project 1 一住環境・公共交通・空き家対策一

・便利で快適な住環境を形成し、定住人口を維持・増加させていくため、道路や公園などの各種インフラ整備をはじめ、空き家・空き施設の利活用による移住・定住促進や地域活動の推進、公共交通の充実、防災体制の強化を図り、安全で安心なまちづくりを進めます。

Project 2 一結婚・出産・子育て・教育対策一

・結婚・出産・子育てに関する包括的な支援を行い、出生数の増加を図ります。また、次代を担う「人財（たから）」を育成していくため、家庭・地域・学校での教育やスポーツ環境、文化施設、まちづくり活動の充実を図ります。

Project 3 一産業・雇用対策一

・地域産業や越前焼の振興と担い手の確保・育成を図るとともに、女性や高齢者、障がい者、外国人など、誰もが活躍できる雇用機会の創出や就労環境整備、企業誘致の推進、新規産業及び後継者の育成に取り組みます。

Project 4 一交流人口対策一

・観光資源の磨き上げをはじめ、新たな誘客戦略や越前ブランドの魅力向上を推進するとともに、交流拠点施設の長寿命化や観光客の受け入れ環境を整備し、交流人口の増加を図ります。

※リーディングプロジェクト関連施策は、基本計画における施策・事業に「★」印で示します。

【視点2】感染症対策の推進

● 世界規模で問題となっている新たな感染症の感染拡大を踏まえ、関連する施策において様々な対策を講じ、感染拡大防止と地域経済の回復、新しい生活様式への対応に努めます

【視点3】SDGs（持続可能な開発目標）の取組

● 国連で採択されたSDGs（持続可能な開発目標）の理念に沿って、多様な主体と連携・分担し、課題解決に向けて取り組みます

第3節 SDGs（持続可能な開発目標）との関連性

後期基本計画の推進にあたっては、SDGs の理念に沿って、町民や地域団体、NPO、企業などの多様な主体と連携・分担を行い、社会・経済・環境に関わる様々な課題を、総合的な視点をもって解決していきます。後期基本計画の施策とSDGs との対応については下表のとおりです。

【SDGs（17の目標）の視点に基づく後期基本計画の施策体系】

基本目標	SDGs(17の目標)																
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	貧困をなくそう	飢餓をゼロに	すべての人に健康と福祉を	質の高い教育をみんなに	ジェンダー平等を実現しよう	安全な水とトイレを世界中に	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	働きがいも経済成長も	産業と技術革新の基盤をつくろう	人や国の不平等をなくそう	住み続けられるまちづくりを	つくる責任 つかう責任	気候変動に具体的な対策を	海の豊かさを守ろう	陸の豊かさを守ろう	平和と公正をすべての人に	パートナーシップで目標を達成しよう
1. 快適で安全に住み続けられるまちづくり	●		●			●			●		●	●	●		●	●	●
2. 誰もが健康で暮らしやすさを実感できるまちづくり	●	●	●	●	●			●		●	●					●	●
3. 人が輝き豊かな心が満ちあふれるまちづくり				●	●					●	●	●		●	●	●	●
4. 人と仕事の活力みなぎるまちづくり		●		●	●			●	●			●		●	●		●
5. ふるさとの個性を活かし交流を育むまちづくり							●	●	●		●	●		●	●		●
6. 持続可能な健全行財政のまちづくり								●	●		●						●

<参考>SDGs（持続可能な開発目標）とは

- ・2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標。
- ・17のゴール、169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っている。



◆第13回越前大自慢写真コンテスト グランプリ作品



「舞い上がれ！陶芸の空へ」